

第六宣言

長期間にわたり保障をご提供する使命を果たすため、財務基盤を維持、強化します。

財務健全性の一層の向上

当社は、お客さまから信頼される会社であり続けるためには、強固な財務基盤をつくり上げていくことが重要であると考えています。そこで、期間収益の確保に努め、危険準備金・価格変動準備金や純資産の部における内部

留保等を積み上げるとともに、生命保険会社の資本として制度的に認められている劣後債務取入れによる補完的な資本の調達にも取り組んできました。

引き続き、規制動向等を踏まえつつ、リスク対比で十分な資本の確保

を目指します。具体的には、内部留保の積み上げや、ALM[※]の一層の推進、リスク性資産の残高コントロールを中心としたリスク削減などに取り組んでいきます(①)。

※ALM:Asset Liability Management(資産・負債総合管理)

安定性の高い資産運用

CSRの観点での運用の考え方

当社は、約30兆円の資産を運用する金融機関として、債券・株式などへの投資や企業への融資を通じてお客さまからお預かりした保険料を国や地方公共団体、産業界に拠出する金融仲介機能を担い、経済の健全な発展に寄与しています。具体的には、長期金融機関として、主に国や地方公共団体の資金ニーズに対する公共債への投資、企業のさまざまな資金ニーズに対する社債および増資の引き受け、融資など、国、地方公共団体、個別企業の成長・発展への貢献が挙げられます。また、投融資の対象企業や資金用途を慎重に見極め、公序良俗に反するものや、環境

破壊・投機的な土地取引を助長するようなものについては取り組まないことを資産運用部門の業務行動基準に明示しています。

今後も、生命保険事業が持つ公共性と資産運用行動が経済全体に及ぼす影響力の大きさを認識し、安全性・有利性のみならず、社会性・公共性にも配慮した資産運用を心掛けていきます(②)。

SRIファンドを新設

生命保険業界初の取り組みとして2010年10月に、当社資産の運用を目的とした社会的責任投資(SRI[※])ファンドを当社内で設立しました。当ファンドの資金規模は10億円ですが、環境保護や社会貢献などに優

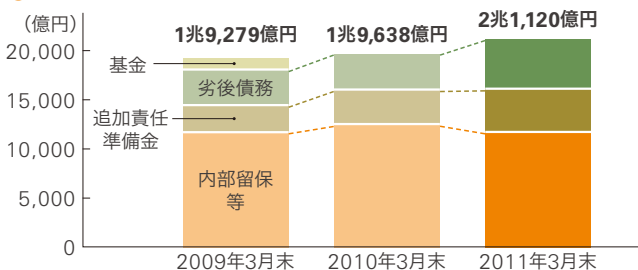
れた国内企業を、当社独自の視点を取り入れた基準により、約100社選定し投資しています。

本取組は、投資先の財務的な評価だけでなく、CSRへの取り組みを重視した投資を行うことで、社会全体のCSR推進への寄与に加えて、長期的に持続可能な安定成長企業を発掘することも目的としています。

このように、資産運用においても、お客さまや株主等、多くのステークホルダーの期待に応えることを意識しつつ、社会に広く寄与する取り組みを推進していきます。

※ Socially Responsible Investmentの略称：一般的に財務情報のほか、コンプライアンス、情報公開、従業員への配慮、取引先の労働条件、地域社会への貢献、環境への配慮などを考慮して投融資を行う手法。

① 資本の内訳



② 資産の状況 (一般勘定)

